

協議② 「出雲崎町にとって、より望ましい教育制度はどちらか」

区分	A:小中連携教育(現在の形)	B:小中一貫教育(9年間の系統的教育)
教育の質・体制	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じた適切な関わり ・「中学へ行く」という意識の切り替えや心の準備ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・9年間を見通した体系的・系統的な教育の実施 ・施設の充実を可能にする ・保護者のコスト削減につながる
児童生徒の成長	(特記事項なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・先生が9年間子供を深く知ることができる ・不登校の減少が期待できる ・子供の成長に見合った修業年数の検討
人間関係・交流	(特記事項なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生(憧れ)と中学生(慈しみ)の交流 ・幅広い交流と、地域との一体感の醸成 ・多世代と関わり、広い社会を経験できる
町の魅力	(特記事項なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生が共に過ごす姿を「出雲崎の新しい魅力」にする ・学校行事の合同開催による充実

別な視点から

小中連携も大切だが、幼・保・こ・小の連携も大切